

日本ウマ科学会 2020 年度理事会 議事録

日時：2019年11月25日 12:20～13:10

場所：KFC Hall & Rooms; Room 101-102

出席者：会長 青木 修

副会長 田谷一善・平賀 敦

常任理事 笠嶋快周・半澤 恵・楠瀬 良・石田信繁・桑原正貴・和田隆一・佐々木直樹

理事 間 弘子・天谷友彦・上田 育・河合正人・側原 仁・小玉剛資・近藤誠司・

中西信吾

監事 岩崎幸治・末崎真澄

事務局 成田正一

笠嶋庶務担当常任理事による開会の辞に続き、会則第20条に基づき青木会長が議長となり、委任状1名を含めて理事19名の出席により本理事会が成立したことを宣言、2020年度理事会が開催された。なお、議事録署名人に間・側原両理事を指名した。

また、本理事会に併せて、評議員17名参加の下で評議員会も開催された。

議題ⅠおよびⅡが一括上程された。

議題Ⅰ 2019年度事業報告（案）について

笠嶋庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。

議題Ⅱ 2019年度収支決算（案）について

半澤会計担当常任理事より資料に基づき説明があった。主な点は以下のとおり。

- 正会員数は20余名増加した。賛助会員数は8社増加したため、会費収入は大きく増加した。
- JRAからの賛助金が増額された。
- 学術集会の参加者数増加により、参加費収入は予算額を上回った。
- 学術集会の企業展示収入は予算額を大幅に上回った。
- 国際特別会計の残高（2,011,628円）を全額一般会計に繰り戻し、口座は解約した。
- 臨床特別会計は1,531,139円を認定馬臨床獣医師制度準備金として、「認定馬臨床獣医師制度会計」に繰り入れし、残全額（3,300,000円）を一般会計に繰り戻し、口座は解約した。認定馬臨床獣医師制度会計は、本制度が安定的に推移するまで、当面の間、準備特別会計として扱うことが確認された。
- 国際会議派遣支援（海外渡航支援）への応募はなかった。
- 学会HPはJRA総研のサーバーを借用していたが、そこから離脱し外部サーバーに移行する予定であった。しかし、総研サーバーの整理縮小が実施されなかつたため、移行しなかつた。HPについては、日本ウマ科学会専用の新ドメインを取得した。

桑原国際担当常任理事より、国際支援会議派遣支援費支出について、今後は広報活動の強化に努め、積極的な利用を促すとの報告があった。

佐々木臨床担当常任理事から、第1回認定馬臨床獣医師認定試験の受験者は17名であることが報告された。

次いで、監査報告が行われ、末崎監事から2019年11月6日に業務監査した結果、事業が適正に運営されている旨の報告がなされた。

その後、議題ⅠとⅡは原案のとおり承認され、定時総会に上程することとなった。

議題ⅢとⅣが一括上程された。

議題Ⅲ 2020年度事業計画（案）について

笠嶋庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。

議題Ⅳ 2020年度収支予算（案）について

半澤庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。主な点は以下のとおり。

- 地方競馬全国協会からの協賛金は 150,000 円の増加を予定している。JRAからは前年と同額の予定である。
- 企業展示収入は、一昨年程度の収入予定のため減額とした。
- HP は新ドメインに変更する。
- Windows7 のサポート終了のため、学術集会用 PC を 2 台更新する。
- 大会開催費は、会場費値上げのため予算額を増額した。
- 印刷費は、講演要旨集の発表演題数増および 4 頁分をカラーページに変更したため予算額を増額した。

青木会長より、文科系活動振興のための絵画展示会の開催が紹介された。今年の学術集会の企業展示会場にて、倉田評議員が事務局を務める伯楽会が実施する。

その後、議題ⅢとⅣは原案通り承認され、定時総会に上程することとなった。

議題Ⅴ 学会賞、奨励賞、功労賞の選考結果について

笠嶋庶務担当常任理事より、学会賞に大村一会员、奨励賞に黒田泰輔会员、功労賞に石田信繁会員が選考され、事前の臨時理事会で承認されたとの報告があった。

議題VI 役員の改選について

笠嶋庶務担当常任理事より、2020-2021 年度の役員、評議員、その他委員会委員の候補者の選考結果が報告された。

その後、議題VIは原案通り承認され、定時総会に上程することとなった。

以上、議事の顛末を記録し、これを証するため署名押印する。

2019年11月25日

議長

青木 修

議事録署名人

側原 仁

議事録署名人

門間 みの子